

垣根の施工例（5）

2012年7月1日投稿



丸一年ぶりの垣根施行例です。今回は5回目。5年ほど前の施行例。奈良市東登美が丘 N 邸。訪問客が訪れ、道路から階段を上がり、門前に立った際、勝手口の様子が丸見え。なんとか目隠しできないか？とのご要望があり施工。今回は御簾垣を袖垣風にアレンジ？隔壁と言うべき

か？材料は幅 1965mm、高さ 1800mm の定尺セット 1 セットをベースに柱等を追加購入。セットの組子を分割して二枚分に。工事期間は1日。手前の垣の支柱はコンクリート製の塀にコンクリートドリルで下穴を掘り、ネジ釘止め。他方は約 30cm の穴掘り、突き固め。奥の垣根は家屋壁面に(モルタル仕上げ)同じくネジ釘止め。他方も同様に突き固め。どちらも支柱の垂直を出すのに一苦労。外壁、モルタル壁ともに若干の傾斜面。スペーサを咬ましながらの微調整。当時、振動ドリルの持合せがなく、結構、下穴掘りに力を要しました。モルタル壁と内部の躯体の木柱との間が広く、持合せのネジ釘では寸足らず。ホームセンターまで・・・。



垣根の施工例（6）

2012年7月2日投稿



施工例の6回目。今回は大和郡山市内のH邸。3年ほど前の施工です。施工前の状態を撮り忘れたので施工前の様子をビジュアルに紹介できませんが……。概要は隣家との境界に枕木を利用した柱の間に、自然竹を組子として御簾垣風に作られていました(支柱の上半

分)。今回の施工では、枕木の柱を約半数を引抜き。残した柱間にプラ竹の組子で御簾を構成。右端のワンスパン追加。幅8800mm、高さ1700mm。施工期間は3日。残した柱にチャンネルを取付、その間に組子を渡しています。今回は胴縁や組子の長さがいろいろ。定尺以外の材料も必要。見積りに一苦労。既設の柱も前後左右の垂直度が今一。表面にはかなりな凹凸と亀裂。さらに、花壇があり、作業スペースがとりにくく、植物を痛めては……。結構、気遣いがありました。御簾垣の下部は約10cmほど開けています。これは、御簾垣と隣家の境界フェンスとの間に雑草等が生えた際、手前から容易に除去できるように配慮してみました。枕木はかなりの重量。初めて扱いでこんなに重いとは……。でした。

会員よりのコメント

枕木と御簾垣がこんなにマッチするとは思いませんでした。日本の伝統造園技術が洋風にも合うのですね。

垣の仕上がりも素晴らしいですね。

垣根の施工例（7）

2012年7月3日投稿

施行例の7作目です。今回は奈良市鹿の台のU邸。御簾垣の最もベーシックで構成はいたってシンプル。幅約1900mm、高さ1800mmの定尺セット二枚を直角に構成したもの。工期は二日。玄関脇から勝手口が丸見え、さらに、隣家からの視線を和らげたいとの要望でした。現在は、御簾垣の前に花壇をつくられています。



参考までに、よく利用されるプラ竹製の垣根には、建仁寺垣、大津垣、御簾垣がありますが……。建仁寺垣と大津垣はどちらかと言えば和風の雰囲気を出す場合に多く採用されているようですが……。御簾垣は和風には勿論、洋風にもマッチするのではないのでしょうか？と小生は感じています。デザイン的にもバリエーションが広いと考えています。その場に合わせた変化を持たせることができます。目隠しを具えた垣としては、最も安価な材料費。パネル構成ではないので若干、手間がかかりますが……。定尺セットのみでは、比較的楽かも……。